

# TAC Grand Opening



テキサス州では珍しく木枯らしが吹く中、その天候をものともせず、TAC (Tohatsu America Corporation) のGrand Opening が盛大に開催された。

テキサス中央時間 (Central Standard Time) 12月15日 (木) の午前9時より、日向TAC社長の開所式挨拶に始まり、Jim Morgenthaler 副社長 (Executive Vice President) スピーチ、テープカット、鏡割りと、各地からのセールス担当者も集まり、新社屋の開所を祝うと同時に、TAC社員全員で今後のTohatsuブランドの拡販に向け、チームの絆を一段と深めることができたイベントであった。

今回でTACとしては3度目の社屋移転にして、念願の自社オフィス・倉庫を持つに至った背景には、米国船外機市場がリーマンショック以前のレベルまで回復してきていること、世界的に観ても米国市場が最大級の市場を有している、以上の理由が挙げられる。

リースにて借りていたFarmers Branch, TXに位置する前オフィス・倉庫のスペースは55,000sq.ft.であるが、当該Coppell, TXに建てられた新社屋は108,000sq.ft.と、約2倍に拡大された自社オフィス・倉庫の広さは圧巻であり、米国市場の今後の可能性並びにTohatsu 会社にとってのその重要性は明らかである。

新社屋の開所を機に、社員一同TACのさらなる発展を目指し、決意を新たにしたりとなった。

\*追伸: TAC開所式という晴れの日、川崎駐在員の第二子が誕生しました。川崎駐在員、おめでとうございます!

(●●/多田)

# TOHATSU PARTNER

2017年4月1日発行 / 春号 VOL.101



Photo :2017ジャパンインターナショナルボートショー in 横浜

## CONTENTS

後送

## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-5-4  
TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社  
トーハツパートナー編集局  
編集兼発行責任者 牧 邦治 / 青山 滋

## 東京商工会議所板橋支部 青年優秀技能者・技術者を表彰 【トーハツの内山・寺沢の両氏が晴れの受賞】



日向社長、工藤取締役、松原工場長とともに記念撮影

日向社長、工藤取締役、松原工場長とともに記念撮影

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。この度表彰された両氏は、船外機の開発、可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ日向社長や工藤取締役らと記念撮影。喜びを噛みしめていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。

(総務部/中根)

東京商工会議所板橋支部(会長/吉村健正氏)の平成29年新年賀詞交歓会が、去る1月30日(月)、来賓者多数出席のもと東京・池袋のホテルメトロポリタンで開催されました。

第一部(式典)の中で第10回目を迎えた板橋青年優秀技能者・技術者表彰が行われ、トーハツから技術部の内山賢二氏、駒ヶ根工場の寺沢洋介氏がめでたく受賞。板橋区の優秀技能者・技術者の栄誉に輝きました。

この表彰は、製造業に従事する優れた青年技能者や技術者を讃えることで、技能者・技術者としての誇りと意欲を高め、将来、板橋区の産業基盤を支える後継者として一層の技能・技術の向上を図ろうとするものです。

この度表彰された両氏は、船外機の開発、可搬消防ポンプの製造に携わっており、高品質の製品を供給すべく日々の研鑽に努めています。

閉会后、トーハツ日向社長や工藤取締役らと記念撮影。喜びを噛みしめていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。



内山賢二さん(技術部) 寺沢洋介さん(駒ヶ根工場)

## 対馬農業協同組合新春総合展示会



今年もやって参りました!! 夏と冬の年2回の恒例行事!!

1月21日(土)・22日(日)の2日間、対馬農業協同組合美津島支店駐車場において、新春総合展示会が開催されました。今年は、寒波到来により強風が吹き荒れる中、準備作業に、また展示会当日には早朝からテント設営作業等と開催前から手こずりましたが、無事開催にこぎつける事が出来ました。

ここ対馬農協では、展示物として船外機・農機具・車・家電・布団・食品等様々なものを展示販売しており、島内からお目当ての商品を買い求める為、多くの組合員様が来場されます。当社としてもこのチャンスを見逃すわけにはいきません。展示機として島内で人気のモデルMFS9.9CL・MFS25CEFGの2台を展示。しかしながら、近年の磯焼けにより上対馬で盛んなイサリ漁もここ数年は不漁続きである為、残念ながら今回の展示会では成約までは至りませんでした。数件の引合いを頂く事は出来ました。

最終日には、強風に合わせ雪が舞う何とも天候に恵まれない展示会ではありましたが、来場頂きました多くの組合員様に励まされ、心温まる2日間となりました。対馬農業協同組合様のご協力に厚く御礼申し上げます。

(マリン九州/平野)

## 久留米広域消防本部様へ地震体験車納入

昨年4月近隣の熊本県・大分県で相次いで地震が発生、九州地区ではめったにない地震が発生 想像を超え被害を及ぼしました。経験と教訓を生かした訓練、震災などの模擬体験や震度ごとの揺れ地震の迫力ある臨場感を直接体で体験できる車両です。災害に対する日頃の備えを充実させることを目的として、多くの方々に体験して頂き高まる防災意識を実感して下さい。

今回のご採用いただきました久留米広域消防本部様並びに(有)筑邦トーハツ商会様には厚く御礼申し上げます。

(防災九州/荒田)



## 2017 ボートショー用口ケ @熊本八代海



2017年のジャパンインターナショナルボートショーでは女性が楽しめるボートライフをテーマに据え、期間中最終日には「心満たされる時間・胸が躍るとき これが私のボートフィッシング」と題し、ボートメーカー各社がプレゼンバトルを繰り広げます。

トーハツでは、「誰でも簡単に大きな魚との駆け引きが楽しめるボートフィッシング」をテーマに、釣りガールの富永唯(ゆいぼん)、カメラマンの近藤利紀氏とともに2016年12月某日、熊本は八代海へボートを浮かべることとなりました。

「誰でも簡単に大きな魚との駆け引きが楽しめる」ことを実証する為に、ジギングでの青物狙いと、タイラパでの鯛・根魚狙いの2パターンで口ケを行うことに。

1日目は低気圧の影響で時折強風が吹き白波が出来る状況の中、TFW-25Rの安定性が威力を発揮し、ゆいぼんがジギングでカンパチをキャッチ! 早々にタイラパへ切り替えるも、強風の為早めに沖上がり。2日目はタイラパをメインに実釣し、ゆいぼんがキジハタとイラを釣り上げ、無事に口ケ成功となりました。

ボートショーでは、この口ケの内容を基に4日間毎日トークショーを行います。女性でも手軽に楽しむことが出来るボートフィッシングのヒント満載でお届け致します!

(キャプテンまっきー)

## フィッシングショー OSAKA2017 開催



数あるイベントの中でも特に人気の高いフィッシングショー。

その中でも熱気あふれる「フィッシングショー OSAKA2017」が2月4日(土)~5日(日)インテック大阪にて開催されました。

昭和39年に釣り用品見本市としてスタートし、今年55回目を迎える当イベントは年々時代に合わせて内容を変化し続けており、最近の傾向として釣り人口拡大を見据え、ファミリー向けのフィッシングスクール開催や釣り場紹介などが主流となりつつあります。多くの家族連れでにぎわう中、人気商品として注目を浴びているインフレーターボートメーカーである、アキレス、ジョイクラフト両社のブース状況をお伝えしたいと思います。

ボート全長が3m未満(登録長)、搭載エンジン出力が2馬力以下であれば、船舶免許並びに船舶検査が不要という大変お手軽にボート遊びが実現できる「ミニボート」という枠があることは既に皆様ご存知の事と思います。お手軽さが人気で、多くの釣りファンが今年のニューモデルを目当てに、こぞってボート展示ブースへ来場しているのです。数年間までは、この枠自体もあまり知られていませんでしたが、最近では既にボートオーナーのお客様もちらほら。中には、買換え検討で商談中のお客様もいらっしゃり、熱の高まりを目の当たりにする事が出来ました。

ボートと言えば船外機。依然として人気を博しておりますトーハツ2馬力船外機「MFS2B」ですが、最近では免許を取ってステップアップする猛者も増えているのです。免許不要で使用できる2馬力では物足りない、より早く、もっと速くへという本能を掻きたたられ、その上のクラスの6馬力船外機「MFS6C」や9.8馬力船外機「MFS9.8B」に関して熱心に説明を受ける姿がとても印象的でした。

まだまだ肌寒い2月ではありましたが、シーズンインへの熱気を肌で感じることが出来た2日間となりました。

(マリン課/藤川)

## 2017 キャンピングカーショー



2月2日(木)~5日(日)の4日間、千葉県幕張メッセにて「ジャパンキャンピングカーショー」が開催されました。会場には、軽自動車を改造したコンパクトなものから、高級住宅のリビングと見間違えような大型の車両まで、ユーザーの利用に合わせて様々な仕様の製品が、展示されていました。

この10年間の間に、キャンピングカーの登録台数はおよそ2倍に増えており、毎年、各地で行われるイベントは、多くの人が来場されその人気を伺えます。合わせて、多くの家族連れが会場を賑わし、キャンピングカー保有者の6割がペットを飼っていることもあり、愛犬たちも会場内で一緒に展示車両に入っていました。

キャンピングカーといえば、富裕層の本格的なアウトドアを楽しむ人たちが乗る自動車というイメージが定着していますが、東北の震災以降、車中泊を楽しむライトユーザーも増加しており、楽しみ方も非常にバラエティに富んでおります。今回、キャンプ等のアウトドアレジャー・旅行先でのマリンレジャーの楽しみ方を提案するため、FRPボートやインフレーターボートの紹介を積極的に行いました。

コンパクトなFRPボートは、荷室やカートの付いて先まで移動できます。また、インフレータータイプでは、トランクにも収納し楽しむことができます。2馬力船外機「MFS2B」により船舶免許の無い方々にも、様々なシチュエーションで楽しんでいただくことができます。免許不要艇によるマリンレジャーへの誘いは、今後、よりアウトドアスポーツの楽しみ方のひとつとなるでしょう。

シーズンインを間近にし、子どもから大人まで、マリンレジャーを多くの方々に知ってもらいたいイベントとなりました。このような展示会では、実際の製品を目にしながらか、キャンプの旅先の湖畔や海辺で、家族の一員のワンちゃんとともにバーベキューをしながら手軽に小型ボートで楽しむことも思い浮かべることが出来ます。

普段見慣れないマリンレジャーも、ちょっとしたきっかけで身近な存在となります。日本各地の観光地の景色を楽しみながら、トーハツ船外機はユーザーの新しいアソビを提供しています。

(マリン課/藤川)

## 紀伊長島のレンタルボートショップ 石倉渡船が大盛況!



三重県紀北町は熊野灘黒潮の好漁場にも恵まれ、200種を越える魚が水揚げされ、真鯛の養殖漁業やカツオの一本釣り漁、スルメイカの夜釣り漁、伝統一本釣り漁など、多様な沿岸漁業を続けています。春はサバやアカイカ、夏はイサキやトビウオ、秋から冬にかけてはブリやヤリイカ、冬はアオリイカ、カマスなど、季節の魚が狙えます。

そんな中、紀伊長島でレンタルボートショップを経営する石倉渡船は26艇のレンタル艇を保有し船外機の全てはトーハツ製を使用。

年間使用時間は平均で1,000時間を超え耐久性にも優れ、燃費も向上した事により燃料代も安くなり大満足と石倉社長は語る。

紀勢自動車道が開通した事により関西圏や中京圏からのアクセスが飛躍的に向上した事から、季節の旬の魚を求め大阪、名古屋方面からは沢山のアングララーや家族連れが訪れ週末にはキャンセル待ちになる程の盛況ぶり!!

近況の釣果もアオリイカ、ヒラメ、真鯛、カマス等多種にわたり、時にはカマスを200匹も釣り上げる強者も!!

今後も益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

(マリン中部/山中)



# ジャパンインターナショナルボートショー 2017 開催



今年も国内最大級のマリンスポーツイベント、ジャパンインターナショナルボートショー 2017が3月2日(木)から4日間、パシフィック横浜(屋内展示)、横浜ベイサイドマリナー(会場展示)の2会場で開催され、合計約5万人の来場者が訪れ、会場は大いに賑わいました。

「海・満たされる時間・・・」が今年のテーマ。

国内主要ボートメーカーは、期間中釣りガールとコラボでショーのテーマに合わせたトークショーを繰り広げ、来場者にマリンスポーツの楽しさを提案いたしました。トーチアクトでは人気釣りガールの富永唯さんとのコラボでTFW-25Rを使った実釣体験を基に、商品の素晴らしさを来場者に広くPR致しました。多くの来場者はトークショーに釘付けとなり、トークショー後、熱心に商品に見入る姿はとても印象的でした。

金曜日はプレミアム・ナイトと題し、通常17:00で閉場するショーを20:00まで延長し、会場ではジャズの生演奏を行ったり、シャンパンの販売を行うなど、昼間のショーの顔とは変わったおしゃれなショーを演出し、来場者を楽しませる事が出来ました。

最終日には、東京都モーターボート連盟主催のパワーボートレースに当社船外機でエントリーし、優秀な成績を修められた「F550クラス 梅田 京之介選手(チームコルト/MFS50A)」と「V250クラス 星野 幸男選手(チーム1/MFS20D)」に今年から新設されました「トーチアクト」の授与式を行い、両選手の栄誉を讃えました。

当社ブースにおいては、今夏販売開始予定のインジェクションモデルMFS9.9/15/20Eを前面に展示。細部にわたり徹底した軽量化を行い、エコスポーツを踏襲した洗練されたデザインの当モデルの周りには、常に人だかりが出来、始動性の良さや燃費向上など話題溢れるニューモデルの発売を待ちわびる声が多数聞かれました。ライトウエイト&エコスポーツで人気のMFS50Aのホワイトカラーバージョンを展示。実はこのモデルは海外のみの設定で、今回は参考出品とさせて頂きました。ホワイトカラーだとより軽量化でスポーティーな印象だと大好評。国内での販売を熱望される声を多数頂きました。

舟艇コーナーではTFW-25RとBFT90Aのセット艇を展示し、最新魚探、スパンカーそしてロッドホルダーなどの機材を施し、トーチアクトならではのフィッシングスタイルを提案すると共に様々なニーズに対応できる点をPRしました。一方で、神奈川県セーリング連盟のヨットレースサポート艇としてデモ活動中のBWA社製リップボートBWA220 PROをBFT150Aとセットで展示。企業活動並びに新たな商材としてPRし、ご覧になったお客様からいくつかの商談案件を頂きました。

会社設立85周年を迎え、船外機のパイオニアメーカーである事をアピールすると同時に当社製品を通じたマリンの魅力を伝えられた4日間となりました。

(マリン課/松下)





## 水陸両用車船検取得

2017年1月19日(祝)埼玉県の大場川マリーナにて、弊社所有のHYDRATERAK製水陸両用車(デモ車)の小型船舶登録に向けた試験を実施致しました。

様々な試験内容を突破していき、無事登録の流れとなりました。ご協力をしていただきました関係者様には紙面にて改めて感謝申し上げます。

今回の登録により、陸上・水中両方で運転が可能となりました。ご興味を持たれた方はデモンストレーションにお伺いしますのでご連絡いただければと思います。

(車両課/白澤)



## 納車しました



### 東京消防庁向け デッキバン 20台納車

2017年1月14日(火)東京消防庁夢の島訓練場にて、消防団向けデッキバン20台の配置式が行われました。各消防署から来られた消防団担当者の方々にご出席されました。グループに分かれてシャシ、艀装部分の取扱説明を行いました。担当者の方が積極的に質問しており、関心高さが感じ取れました。

納車の際ご尽力いただきました、ダイハツ販売株式会社様には厚く御礼申し上げます。(車両課/白澤)



### VC52BS 9台納車

2017年2月3日(金)熊本市消防局 東消防署にて、小型動力ポンプ積載車9台の納車・取扱説明を行いました。

当日の消防署までの道中、古い木造民家の一部が崩れ落ち、周囲にはカラーコーンが置かれ、立ち入り禁止となっている様子が見られました。昨年4月に発生した熊本地震の被害の大きさを実感いたしました。こういった災害から生命や財産を守るため、活躍していただく消防団員が熱心に説明を聞く姿が印象的でした。

今回の納入にご尽力いただいた、熊本市消防局様並びに三機物産株式会社様には、厚く御礼申し上げます。(車両課/白澤)

## 工場見学

### 滋賀県東近江市 東村山市消防団

冷たい雨が降りしきる2月20日(月)、滋賀県東近江市と東京都東村山市の消防団様が日程の関係で、合同で駒ヶ根工場の工場見学をされました。

最初の事務棟におけるビデオの製品紹介では普段見慣れないポンプの紹介もあり、非常に興味を持たれていたようでした。工場見学ではポンプ運転検査場や組立の実作業を見学し、輸出モデルの完成品を見ながら国内モデルの違いをご紹介させて頂きました。また、東近江市消防団には工場見学終了後に機関員講習会を開催させて頂きました。

皆様の益々のご活躍を祈念致しまして筆を置きたいと思ひます。寒い中皆様お疲れ様でした。

(防災中央/金子)



## 納入しました

### 山梨県北杜市 軽積載車 22台口納入



冬の大將軍の訪れを感じさせる去る12月11日(日)、山梨県北杜市にて軽積載車22台の納入式が行われました。納入した車両はハンドリフターを搭載し、発電機、投光器、無反動管鎗、マグネットコンセント式のポンプ充電器等の装備が充実した車両となっており、配備された各分団の方々にも非常に好評で、自分たちの地域を守る新しいパートナーとして迎え入れられておりました。

今回の納入にあたりまして代理店の中村ポンプ工作所様の多大なるご尽力に感謝致します。ありがとうございます。

(防災中央/金子)

### セキスイハイム様へ ハイスpekク地震体験車を納入



去る1月30日(月)セキスイハイム様にハイスpekク地震体験車を納入いたしました。今回納入いたしました地震体験車は、起震装置がリチウムイオンバッテリーで可動します。通常は大きい発電機を積載しその電力で起震装置を可動させていました。発電機からリチウムイオンバッテリーで行うことでクリーンな状態でお客様に地震体験がいただける仕様となっております。さらに、記憶に新しい2016年4月16日(土)に発生した熊本地震を体感することができます。

今回の納入に際してセキスイハイム様並びにいすゞ自動車販売様には、厚く御礼申し上げます。(防災中部/高橋)

### 愛媛県消防学校に濃煙熱気訓練装置MP8型を納入



去る平成29年2月、愛媛県消防学校に濃煙熱気訓練装置MP8型が納入され、試運転が執り行われました。教育訓練内容の充実を目的とし、実践的な火災防御活動時における安全管理能力の向上のため、実技訓練(ホットトレーニング)が必要となり設置することとなりました。今まで体験することの難しかった熱気、煙の二層流、フラッシュオーバー(簡易)等が再現することができ、そのことで、煙の挙動とポジショニングの関係を確認したり、火元からの距離と熱の関係を認識したり、その他の動作判断等を養うことが可能となります。

この訓練装置で多くの消防関係者に火災現場に準じた臨場感を体感して頂き、また、消火技術向上や防災技術向上に役立てて頂き、市民の安全・安心を守って頂きたいと思ひます。今回の納入にご尽力頂きました㈱ヤマダ様に厚く御礼申し上げます。(防災関西/小鷹)



### 西尾市消防団様へ ERP多機能消防車を納入

去る2月5日(日)に西尾市消防団向けFRP多機能消防車、VC72PROⅢの納入をいたしました。一昨年に引き続き2台目の納入となります。救助を考えた装備として、エンジンカッター、チェーンソー、AED、折り畳み担架等が積載されており、夜間活動を助けるメタルハライドサーチライト2個、車両回りを照らすLEDを3個、シャッター内にはLEDラインライトを多数取付けています。

今回の納入に際して西尾市消防本部様並びに山佐産工業様には、厚く御礼申し上げます。(防災中部/高橋)



### 館林消防団様へ 小型動力ポンプ付積載車を納入

去る2月23日(木)、群馬県館林地区消防組合様にて4期連続4台目になる、小型動力ポンプ付積載車を納入いたしました。

荷台の棚をアルミフレームで製作することで、小型動力ポンプや発電機、投光器、その他消防資機材もコンパクトに収納でき機能的な作りになっています。同週末には、実際に車両を運用される消防団の方にお集まりいただき、艀装関係及びポンプの取扱説明をさせていただきました。夜間だった為、赤色灯やライトの光が映えその明るさにも非常に満足されていました。

今回の納入に際して館林地区消防組合様並びに小曾根総合防災様、関東いすゞ様、ご協力をいただきました関係業者様には厚く御礼申し上げます。(防災中央/桑澤)



### 草津町消防団様へ軽デッキバン型積載車 及び小型消防ポンプを納入

去る3月2日(木)、群馬県は北西部高地に位置し、温泉でも有名な草津町へ、軽デッキバン型積載車と小型消防ポンプの納品が行われました。

当日は午後から小雪が舞い散るあいにくの天気でしたが、多くの消防団の方々にお集まりいただき、無事引き渡し式を終えることができました。式典の後、軽デッキバン型積載車及び小型消防ポンプの説明をさせていただきましたが、団員の皆様が熱心に説明を聞いて下さり、操作の実践をしていただく姿に非常に感銘いたしました。また、土地柄特に冬場などは水利の確保も難しく、消火栓を使用する機会が多いとのことで、実際に消火栓を使用しての中継送水も行いました。山間部や狭路も多い場所故、機動力にも長けたこの車両が皆様のお役に立てればと思っております。

今回ご採用をいただきました草津町役場様には厚く御礼申し上げますと共に、納入にあたりご尽力いただきました温井自動車工業(株)様、各方面でご協力をいただきました群馬ダイハツ様、クハラ商事様にも併せて御礼申し上げます。(防災中央/桑澤)



### 日立市消防団様へ 小型動力ポンプ積載車を納入

去る2月12日(日)、澄み切った冬晴れの下、茨城県日立市消防本部様にて、小型動力ポンプ積載車を納入いたしました。

荷台前側には扉開閉式の大型2段収納ボックスを設け、多くの資機材を収納できるようにしています。小型動力ポンプについては、車両に積載した状態のまま吸水～放水ができるようレイアウトし、左側板は必要に応じて開放できる構造となっています。積載ポンプについては、操法大会でも活躍が期待できるVC72PROⅢを採用いただいております。

今回ご採用をいただきました日立市消防本部様並びに、納入にあたりご尽力いただきました北関東防災工業(株)様、また各方面でご協力をいただきました関係業者様には厚く御礼申し上げます。(防災中央/桑澤)



### 匝瑳市消防団様へ 固定配管型小型動力 ポンプ付積載車を納入

去る2月27日(月)、冬の寒さが厳しい曇り空の中、千葉県匝瑳市消防団へ固定配管型小型動力ポンプ付積載車が納車されました。

本車両は荷台後部に2段の収納ボックスと、その後に固定配管及び全自動小型動力消防ポンプVF53AS-Tiを積載した車両で、両側面での吸水・吐水が可能、また助手席側には中継口が付いており、ポンプ車にも劣らない作りとなっています。ポンプ室部分も限られたスペースを有効に使い、消防用品を配置。上部には二段手すりでの収納スペースを設け、ホースや資機材を積載できるようにしています。

納車式が行われた同週末には、車両及びポンプの取扱説明と、近くの池にて吸水から放水までを行い、各団員様に実際に操作をしていただきました。散光式回転灯や赤色点滅灯のパターンが変更や、車両の運用安全にバックカメラを取付など、充実した装備の車両に団員の方々も非常に喜んでおられました。

今回ご採用をいただきました匝瑳市様には厚く御礼申し上げますと共に、納入にあたりご尽力いただきました(株)吉田商会様、千葉日産自動車(株)様にも併せて御礼申し上げます。(防災中央/桑澤)